

# 積分演習プリント

8題+7題(8題を何回も繰り返し解きましょう。余裕のある人は後半7題も繰り返し解いて身に着けよう。)

## 1. [長崎大]

関数  $f(x)$  は次の条件 (ア), (イ), (ウ) を満たす。そのような正の数  $a$  の値と  $f(x)$  を求めよ。

(ア)  $f'(x) = x^2 + ax$

(イ)  $f(0) = -1$

(ウ)  $f(x)$  の極大値と極小値の差が  $\frac{4}{81}$

## 2. [(1) 神奈川大 (2) 慶応義塾大]

(1) 関数  $f(x)$  と定数  $k$  が等式  $\int_3^x f(t) dt = 2x^2 - 4x + k$  を満たすとき、

$f(x) = \frac{\text{ア}}{\text{イ}}$  で、 $k = \frac{\text{ウ}}{\text{エ}}$  である。

(2) 関数  $f(x)$  が  $f(x) = 2x^2 + 3x + \int_0^{\frac{1}{2}} f(t) dt$  を満たすとき、 $f(x) = \frac{\text{ア}}{\text{イ}}$  である。

## 3. [同志社大]

1次関数  $f(x)$  が  $\int_{-1}^x f(t) dt = 2x^2 - ax + a$  を満たすとき、定数  $a$  は  $a = \frac{\text{ア}}{\text{イ}}$  である。

このとき、 $\int_{-1}^1 |f(x)| dx = \frac{\text{ウ}}{\text{エ}}$  である。

## 4. [名城大]

放物線  $C: y = 2x^2$  と直線  $l_1: y = -3x + 2$  がある。 $C$  と  $l_1$  によって囲まれた部分の面積を  $S_1$  とし、 $C$ 、 $l_1$  および直線  $l_2: x = 1$  によって囲まれた部分の面積を  $S_2$  とすると、

$S_1 = \frac{\text{ア}}{\text{イ}}$ 、 $S_2 = \frac{\text{ウ}}{\text{エ}}$  である。

## 5. [職業能力開発総合大学校]

$f(x) = x^2 + 2x + 2$  とする。曲線  $y = f(x)$  の点  $(1, f(1))$  における接線の方程式は、

$y = \frac{\text{ア}}{\text{イ}}x + \frac{\text{ウ}}{\text{エ}}$  である。この接線と  $y$  軸、および曲線  $y = f(x)$  で囲まれた図形の面積は、 $\frac{\text{ア}}{\text{イ}}$  である。

## 6. [小樽商科大]

曲線  $y = -x(x-2)$  と  $x$  軸で囲まれた面積を、直線  $y = (-a+2)x$  が 2 等分するとき、定数  $a$  を求めよ。

## 7. [福岡大]

直線  $l$  は、2つの放物線  $C_1: y = (x-1)^2$  と  $C_2: y = x^2 - 6x + 5$  に接しているとする。

(1) 直線  $l$  の方程式を求めよ。

(2) 放物線  $C_1$  と  $C_2$  および直線  $l$  とで囲まれる部分の面積を求めよ。

## 8. [室蘭工業大]

$a, b$  を定数とし、関数  $f(x)$  を  $f(x) = x^3 + ax + b$  と定める。また、 $f(-2) = -1$ 、 $f'(-2) = 9$  とする。

(1)  $a, b$  の値を求めよ。

(2) 曲線  $y = f(x)$  上の点  $A(-2, -1)$  における接線を  $l$  とする。また、点  $A$  を通らない  $l$  に平行な  $y = f(x)$  の接線を  $m$  とする。このとき、 $l$  および  $m$  の方程式を求めよ。

(3) (2) で求めた  $m$  と曲線  $y = f(x)$  で囲まれた図形の面積を求めよ。

## 9. [神戸学院大]

関数  $y = |x^2 - 2x|$  …… ① について、次のことがいえる。

(1) 座標平面上で、関数 ① のグラフと  $x$  軸との共有点の  $x$  座標の値は  $\frac{\text{ア}}{\text{イ}}$ 、 $\frac{\text{ウ}}{\text{エ}}$  である。ただし、 $\frac{\text{ア}}{\text{イ}} < \frac{\text{ウ}}{\text{エ}}$  である。

(2)  $\int_{-1}^0 |x^2 - 2x| dx = \frac{\text{ア}}{\text{イ}}$

(3)  $\int_0^3 |x^2 - 2x| dx = \frac{\text{ウ}}{\text{エ}}$

(4)  $F(a) = \int_a^{a+2} |x^2 - 2x| dx$  について、 $0 < a < 2$  のとき

$F(a) = \frac{\text{キ}}{\text{ク}} a^3 + \frac{\text{ケ}}{\text{コ}}$  である。

## 10. [京都大]

座標平面上で、点  $(1, 2)$  を通り傾き  $a$  の直線と放物線  $y = x^2$  によって囲まれる部分の面積を  $S(a)$  とする。 $a$  が  $0 \leq a \leq 6$  の範囲を変化するとき、 $S(a)$  を最小にするような  $a$  の値を求めよ。

## 11. [学習院大]

放物線  $C: y = x^2$  上の点  $P(t, t^2)$  を通り、 $P$  における  $C$  の接線と直交する直線を  $L$  とする。ただし、 $t$  は正の実数とする。

(1)  $L$  の方程式を求めよ。

(2)  $L$  と  $C$  で囲まれた部分の面積を  $S$  とする。 $t$  が正の実数全体を動くとき、 $S$  の最小値と、最小値を与える  $t$  の値を求めよ。

## 12. [福岡大]

$a > 0$  とし、放物線  $C: y = \frac{1}{2}ax^2$  上の点  $P(2, 2a)$  をとる。直線  $l$  は、点  $P$  での  $C$  の

接線と  $P$  で直交しているとする。

(1) 直線  $l$  の  $y$  切片を  $a$  を用いて表せ。

(2) 放物線  $C$  と直線  $l$  および  $y$  軸で囲まれた部分の面積  $S$  を  $a$  を用いて表せ。また、その面積  $S$  の最小値を求めよ。

## 13. [高知大]

座標平面上に放物線  $C: y = \frac{1}{6\sqrt{3}}x^2$  を考える。

(1)  $C$  と 2点  $(-3, \frac{\sqrt{3}}{2})$ 、 $(3, \frac{\sqrt{3}}{2})$  で接している円の方程式を求めよ。

(2)  $C$  と (1) の円で囲まれる部分の面積を求めよ。

(3)  $C$  と点  $(3, \frac{\sqrt{3}}{2})$  で接し、 $y$  軸にも接している円の方程式を求めよ。

(4)  $C$  と  $y$  軸および (3) の円で囲まれる部分の面積を求めよ。

## 14. [東京電機大]

曲線  $C: y = |x^2 - 4|$  と直線  $l: y = 2x + 4$  で囲まれた 2 つの図形の面積の和を求めよ。

## 15. [関西学院大]

$m$  を正の実数とする。 $xy$  平面において  $y = |2x(x-2)|$  で表される曲線を  $C$ 、 $y = mx$  で表される直線を  $l$  とする。

(1)  $C$  と  $l$  の共有点が 3 個であるような  $m$  の値の範囲を求めよ。

(2)  $m$  が (1) で求めた範囲にあるとき、 $C$  と  $l$  で囲まれる部分の面積  $S$  を  $m$  の式で表せ。

(3)  $m$  が (1) で求めた範囲で変化するとき、 $C$  と  $l$  で囲まれる部分の面積  $S$  の増減表をかいて、 $S$  を最小にする  $m$  の値を求めよ。